

カンチコウゾリナ

Picris hieracioides L. subsp. *kamtschatica* (Ledeb.) Hultén

キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧II類 旧：-

【環境省カテゴリー】-

選定理由

県内の生育地、個体数ともに少ない。

分 布

国内では北海道、本州中部以北の高山に分布する。大野市。

種の特徴

亜高山～高山帯の砂礫地や草地に生える。茎の高さは25～60cm、全体に剛毛があり、花序のものは黒色を帯びる。総苞は黒緑色。

生育を脅かす要因

登山道の整備による生育地の破壊、植生の遷移等。

参考文献 佐竹義輔ほか (1981)、清水建美ほか (2014)

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ヤハズトウヒレン

Saussurea sagitta Franch.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧II類 旧：-

【環境省カテゴリー】-

選定理由

県内では生育地が限られている。

分 布

国内では東北北部、北アルプス、白山山系に分布する。大野市。

種の特徴

亜高山帯～高山帯の砂礫地や草原に生える。茎の高さは10～50cmほど。葉は披針状長楕円形で基部が矢筈形となる。頭花は狭筒形、総苞片は6列、片の先端は鋭く尖る。日本固有種。

生育を脅かす要因

山道の整備、植生の遷移。

参考文献 清水建美・門田裕一 (2014)、加藤雅啓・海老原淳 (2011)

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ミヤマタンポポ

Taraxacum alpicola Kitam.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧II類 旧：-

【環境省カテゴリー】-

選定理由

生育地、個体数は限られている。

分 布

国内では、北アルプス北部、妙高山、戸隠山、白山等の高山に分布する。大野市。

種の特徴

本県の亜高山帯に見られるタンポポの唯一の仲間である。花は濃い黄色で径4～5cm程である。総苞は白粉をおび、外片は狭卵形、内片より短い。片に角状突起はない。

生育を脅かす要因

山道の整備、植生の遷移等。

参考文献 清水建美・門田裕一 (2014)、豊国秀夫 (1988)、佐竹義輔ほか (1981)

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	